



ひがし野

教育目標
 真理(まこと)を求める生徒
 情操(こころ)を深める生徒
 身体(からだ)を鍛える生徒

令和2年



高め合い 磨き合い 感動し合い
 「愛」いっぱいの真岡東中

かくも見事な「ハーモニー」

感動と情熱のクラスター ～心は密に 未来へ繋げ～

10月23日(金)に、規模を縮小した「ひがし野祭」を実施いたしました。今年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、保護者の方々をお呼びすることができず大変申し訳なく思っております。

そのような様々な制限が加わった中でも、東中の生徒たちは運動会同様の『心意気』を発揮してくれました。生徒会が主体となったオープニングセレモニーは、話題となっている「未満警察」をモチーフにしたシナリオで、学校生活の各場面を想定し、生徒会役員だけでなく各先生方も登場し、それはそれは愉快的なオープニングとなりました。1年生から3年生までの各クラスごとの紹介ビデオは、それぞれのクラスが趣向を凝らし、そのクラスの「良さ」が十二分に反映された、楽しくも心温まるものでした。吹奏楽部の演奏も、ビデオ審査で全国大会に出場を果たした実力通り、透き通った音色の素晴らしい演奏でした。

そして、合唱コンクール。これは、クラス合唱の域を遙かに超えていました。しっかりした音程、歌詞を表現した強弱、指揮者伴奏者との強調。かくも見事な「ハーモニー」が聴けたことに、ただ感謝するばかりでした。ハーモニーとは「調和」の意味。調和したのは音だけでなく、学級を組織する一人ひとりの心の調和、担任との見えない絆であったのだらうと思います。

コロナ渦の中でも、創意工夫を凝らし、自分たちの進むべき道をしっかりと見定めて行動することのできる東中の生徒たち。その情熱は、確実に未来へと繋がれたと確信します。



日本管楽合奏コンテスト 全国大会出場！

ビデオ審査で実施された日本管楽合奏コンテストで、本校吹奏楽部が全国大会に参加することになりました。全国大会もビデオ審査となり、先日、録画を行いました。

心のたすき ～芳賀郡市中学校駅伝競走大会～

10月27日(火)に芳賀郡市中学校駅伝競走大会が、真岡市総合陸上競技場を会場に開催されました。今年度は、新型コロナウイルス感染予防のため、例年の井頭公園において襷の受け渡しをする形ではなく、男女分かれ、それぞれの距離をトラックレースで走り、合計タイムを競う形で行われました。その結果、男子が準優勝、女子が優勝に輝き、男女そろって県大会出場の権利を獲得いたしました。

夏休みから始まった駅伝の練習。早朝とはいえ、暑い中での長距離の練習は、それはそれはきついものでした。私も走ることが好きなので、時折一緒に走りました。止めどもなく流れ出る汗。心臓が破裂しそうになるほど高まる脈拍。それでも、一心不乱に、スピードを緩めることなく走り続けなければなりません。そんな辛く厳しい練習を乗り越えたからこそ、県大会出場という栄冠を勝ち取ることができたのです。毎日毎日、一心不乱に走り続けた選手たちに心からの拍手を送ります。そして、11月7日(土)に開催される栃木県中学校駅伝競走大会で、関東大会を目指し、実力を遺憾なく発揮してくれることを期待します。

